

## 東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～埋立外周護岸の内側に初めて陸地が現れる～

### トピックス

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）建設工事では、埋立外周護岸の捨石マウンドが既成し、現在、その背後に中仕切り堤2の施工と管中混合固化処理土の打設を24時間施工で進めています。（断面図参照）

中仕切り堤2（中仕切り堤の上側部分）はガット船により運ばれた岩ズリを、ガット船のグラブで直接、外周護岸の内側に投入していく工種です※1。中仕切り堤2は、トレミー船によって施工された中仕切り堤1と合わせて中仕切り堤と呼ばれ、外周護岸内側を埋め立てる際に、管中混合固化処理土とその背面の埋立柱材（山砂、岩ズリ等）とを仕切る（分ける）ための堤防として機能します。

水中部においては、既に投入されている中仕切り堤1によって区分され、気中部※2においては中仕切り堤2によって区分されます。そのため、中仕切り堤2の上部が海上へ現れ、設計天端が確保された箇所において、気中部の管中混合固化処理土の打設が可能となります。

先般、10月4日に護岸・埋立Ⅱ工区（現空港側）において、外周護岸内部に中仕切り堤の一部が初めて海上に現れました。

今後、各工区において、中仕切り堤の進捗が進み、外周護岸の内側に堤防状の陸地が海上に現れ始めます。

1 工区によってはバージ船にて運ばれた岩ズリをリクレーマ船によって投入を行う場合もあります。

2 気中部の管中混合固化処理土はA.P.+2.5mまで打設されます

平成20年11月6日

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室	こばやし ほんだ むらおか 小林・原田・村岡
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス5階	
電話 03-5756-6577	
HP <a href="http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/">http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/</a>	





海上出現直後の状況



海上出現状況



ガット船による投入状況1



ガット船による投入状況2